

医歯学総合研究科（修士課程、博士課程）

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科は、全学の学位授与方針及び医歯学総合研究科の教育目標に鑑み、以下に示す方針に基づいて、学位を授与します。

（修士課程）

修士課程においては、所定の単位を修得し、以下に挙げる能力を身につけ、審査に合格した者に修士の学位を授与します。

1. ヒトの疾病の予防と治療、環境の保全と社会の発展のために専門的知識と高度な技能を応用できる能力
2. 専門家としての実践的な能力を活かして医科学、生命科学及び医療の多様な分野で指導的役割を担いながら社会貢献できる能力
3. 広い視野と高い倫理観を有し、法令や各種指針等を遵守して、専門的知識と高度な技能を専門家としての実践と研究に応用できる能力
4. 地域と国際社会の発展に貢献するために医学・歯学・医療の動向に关心を寄せ、文化の多様性を受入れ、課題に取り組むことができる能力

（博士課程）

博士課程においては、所定の単位を修得し、以下に挙げる能力を身につけ、博士論文の審査及び最終試験に合格した者に博士の学位を授与します。

1. ヒトの疾病の予防と治療、環境の保全と社会の発展に直結する新しい独創的な研究を計画・実施し、国際的に成果を発信することによって高度専門分野を牽引できる能力
2. 広い視野と高い倫理観及び研究に対する強い責任感を有し、真理を探究する姿勢の下に法令や各種指針等を遵守して研究を遂行できる能力
3. 地域と国際社会の発展に貢献するために、医学・歯学・医療に関する課題をリーダーシップを発揮して解決できる能力
4. 先端がん診断・治療コース、ウイルス性難治疾患研究コース、高度歯科専門臨床医養成コース等の専門医等を養成するコースにおいては、高度専門医療人・専門家として、先駆的医療の発展や公衆衛生の推進に寄与できる能力

医歯学総合研究科（修士課程、博士課程）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科は、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる医学・歯学・医療における学識と専門的技能を修得した人材を育成するために、以下に示す方針に基づいて、科目の提供とヒトの疾病の予防と治療、環境の保全と社会の発展に寄与するきめ細かい研究指導を行う教育課程（カリキュラム）を編成のうえ、実施します。

1. 進学から学位取得に至るまで系統性のある教育課程の編成

（修士課程）

- (1) 医学・歯学・医療における研究者・専門家になるために必要な基本的知識と技術のエンセンスを体系的・集中的に修得する必修科目及び選択科目を提供します。
- (2) 高度な専門性を発揮できる実践的な能力を修得する科目を提供します。
- (3) 研究の遂行と発表により、専門分野における基礎的な研究能力と倫理的対応を修得する教育を展開します。
- (4) 地域と国際社会における課題を研究テーマとして取り上げ、研究指導と討議及び研究者との交流を通して、社会への関心を高め、問題解決の手法を学ぶ教育を展開します。

（博士課程）

- (1) 医学・歯学・医療において、指導的研究者・高度専門医療人になるために必要な研究の基盤、先端的専門的知識、生命倫理・研究倫理、コミュニケーション能力、教育能力を修得できる専門科目と統合的・横断的科目を提供します。
- (2) 基礎研究と臨床研究を統合し、高度先進技術を駆使した研究を計画・実施・発表することにより、医学・歯学における真理の探究・先駆的医療の開発をめざす高度な研究能力を育む教育を展開します。
- (3) 研究を遂行するために必要な研究倫理及び職業倫理を審査の経験や研究指導を通じて修得する教育を行います。
- (4) 地域や国際社会が抱える課題を自ら発見し、研究テーマとして取り上げ、解決できる能力を育成します。
- (5) 独立した研究者として学内外との共同研究を推進し、指導的役割を果たすためのリーダーシップや責任感を育む教育を行います。
- (6) 先端がん診断・治療コース、ウイルス性難治疾患研究コース、高度歯科専門臨床医養成コース等の専門医等を養成するコースにおいては、それぞれのコースの特色に応じた科目を提供し、専門分野に関連する領域における臨床研修を行います。

2. 目的・目標に応じた方法による教育の実施

学位取得の方針に掲げる能力を育成するために、各科目の目的・目標に応じた方法による教育活動を行います。

3. 厳格な成績評価の実現

各科目において教育・学修目標と評価基準を明確に示し、厳格な成績評価を行います。

医歯学総合研究科（修士課程、博士課程）

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

＜医歯学総合研究科の教育目標＞

（修士課程）

医科学専攻：医学や歯学に関する知識・技術を多様な分野で応用して活躍できる人材の育成を目的としています。学生はヒトの疾病の予防と治療、環境の保全と社会の発展に応用できる専門的知識と専門家としての基本的な能力を修得し、広い視野と倫理観を有した人材となることを目指します。

（博士課程）

博士課程では、地域社会や国際社会において医学・歯学の発展に寄与する研究者・専門医・教育者の育成を目的としています。学生は以下に挙げる各専攻の研究活動を通して、国際的な評価に耐える研究を計画・実施・発信する能力を修得し、さらに、広い視野で研究の社会的な意味を問い合わせ、共同研究を推進する協調性と倫理観を有した人材となることを目指します。

健康科学専攻：生命現象の基礎的理解に基づき疾病に関する個体の問題（生活習慣など）、個体と環境の関係、社会の諸問題などに関する疾病予防を中心に基礎研究と臨床研究を統合して総合的に病因・病態を明らかにし、育成・予防法、診断・治療体系や技術体系の開発を推進します。

先進治療科学専攻：医学と歯学における基礎医学と臨床医学を有機的に連携し、急速に進歩する基礎医学の成果をトランスレーショナル・リサーチとして臨床医学に取り入れ、先端医療技術の開発・臨床応用を推進します。特に最新の遺伝子工学、生体工学、ナノテクノロジーなどの高度先進技術を駆使し、遺伝子治療、移植医療、再生医学などの先進的医療やオーダーメイド医療、Evidence-Based Medicine (EBM) を展開します。

＜入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）＞

1. 求める人材像

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科は、教育理念と学位授与の方針に基づいて、地域及び国際社会の医学・歯学・医療の発展に貢献する人材を育成するため、所定の入学要件を満たした、以下のような人を求めています。

（修士課程）

- ・高度医療職業人として医療、福祉、医療行政に従事することを目指す人
- ・医学、歯学、医療に関する研究に熱心に取り組み、学ぶ意欲のある人
- ・異分野・異文化に关心を持ち、国際的なコミュニケーション能力のある人
- ・学士としての確かな基礎学力と専門分野における知識・技能を有する人
- ・主体的に学ぶ態度を身につけ、専門分野に関連する地域及び国際社会の諸問題に

関心を持つ人

- ・自ら課題を発見・探究・解決しようとする意欲に満ちた人

(博士課程)

- ・国際的に活躍する優れた研究者あるいは高度な知識と技術を身につけた専門家を目指す人
- ・各専攻における高度な知識や技術を身につけ、医学、歯学、医療の発展のための研究を遂行する意欲のある人
- ・異分野・異文化に関心を持ち、国際人として積極的にコミュニケーションをとることができるとができる人
- ・修士課程あるいは医歯薬獣医学の6年課程修了程度の確かな基礎学力と専門分野における知識・技能を有する人
- ・主体的に学ぶ態度を身につけ、専門分野に関連する地域及び国際社会の諸問題に關心を持つ人
- ・自ら課題を発見・探究・解決しようとする意欲に満ちた人

2. 入学前に身に付けておいて欲しいこと

(修士課程)

- ・生命科学あるいは関連する領域の学士課程修了に相当する基礎学力
- ・専門分野における国際的な論文等を読解する語学力
- ・学士としての確かな基礎学力と専門分野における基礎的な知識・技能
- ・主体的に学ぶ態度と専門分野に関連する地域及び国際社会の諸問題への関心
- ・自ら課題を発見・探究・解決する姿勢

(博士課程)

- ・修士課程あるいは医歯薬獣医学の6年課程修了程度の確かな基礎学力と専門分野における知識・技能
- ・研究遂行のための基本的な知識及び技能、あるいは先進医療や研究開発の理解
- ・専門分野における国際的な学術論文を読解し、研究成果を発信する語学力
- ・主体的に学ぶ態度と専門分野に関連する地域及び国際社会の諸問題への関心
- ・自ら課題を発見・探究・解決する姿勢

3. 入学者選抜の基本方針

(修士課程)

所定の出願資格を有した志願者を対象に、小論文で医科学領域の基礎学力を、学力検査（英語）で医科学領域に関わる分野の英語の文献を読解する能力（外国人留学生に対しては英語による口述試験（学力検査及び面接）で英語の読解力と研究を進める上で必要な語学力、医科学領域の基礎学力）を審査します。

(博士課程)

所定の出願資格を有した志願者を対象に、学力検査（外国語：英語）、面接、出願書類等の審査により、修士課程あるいは医歯薬獣医学の6年課程で修得した基礎学力、研究の基盤能力、語学力の有無を審査します。